

大蔵館跡(比企郡嵐山町)

おおくらやかたあと

ここ一帯が大蔵館跡で正面前方には大蔵神社がある



「史蹟大蔵館趾」とある/石柱のすぐ右手に木に隠れて説明板がある



大蔵館は帯刀先生源義賢の居館であったという/木曾義仲もこの地ゆかりの武将である

埼玉県指定史跡

大蔵館跡

指定 昭和九年二月三十一日

所在 大字大蔵堀ノ内

面積 東西一七〇メートル 南北二二五メートル

時代 平安時代末期

大蔵館跡は平安末期の頃、六条判官源為義の次男義賢が、仁平二年（一一五二）から久寿二年（一一五五）まで館を構えていたと伝わり、御所ヶ谷と堀ノ内にわたり土壘や空堀の一部が現存し、県下でも古い館跡といふ。

義賢は近衛天皇東宮時代の侍従の長で、当時この職を帯刀先生と称した。

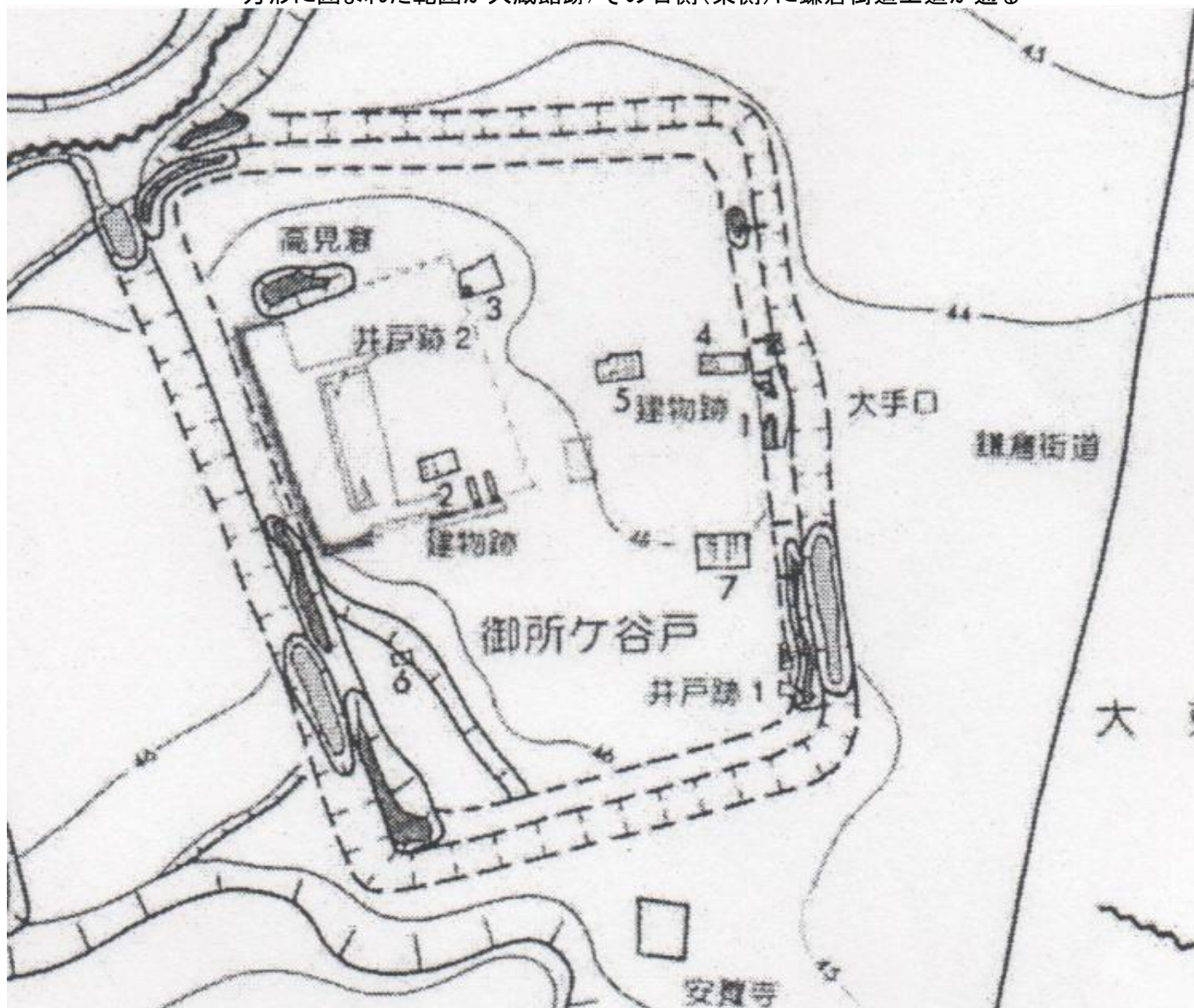
久寿二年八月十六日、義賢は兄義朝の長男義平に、この地にて討たれた。平治物語では、これを大蔵の戦といい、今より約八二〇年も昔の事である。

尚義賢の遺児駒王丸は、畠山重能・斎藤実盛に助けられ、木曾の中原兼遠の許へ送られ、後年旭將軍木曾義仲として天下に名高を轟かした。

昭和四十九年二月

嵐山町教育委員会

方形に囲まれた範囲が大蔵館跡/その右側(東側)に鎌倉街道上道が通る



大蔵館跡実測図/現地説明板より

↓ F地点

↓ E地点

↓ D地点



※ A~F地点はそれぞれ矢印が示す現在の道路の曲がり角を指すものとする

↑ A地点

↑ B地点

↑ C地点

上図の左下の部分が大蔵神社エリア



↑B地点

大蔵神社入口(A地点)



参道/正面が大蔵神社社殿



大蔵神社とある



大蔵館跡

大蔵館は、源氏の棟梁大蔵朝直源為義の次子、兼光の弟源義貞の居館で、都幾川のその台地上にあった。現存する遺構から推定すると、館の規模は、東西一七〇メートル、南北二〇〇メートル余りであったと思われる。館のあった名残りの、館跡のある地名は、御所ヶ谷戸及び堀之内とよばれる。現存遺構としては、土塁・空堀などがあり、ことと東面一〇〇メートル地点の竹林内（大蔵朝直の墓）には、土塁の残存がはっきり認められる。また、かつては高見櫓の跡もあった。なお、館跡地内には、伝説山稲荷と大蔵神社がある。

源義貞は、当地を拠点として武成を高めたり、久寿二年（一一五五年）八月十六日、源義朝の次子である甥の源大義平と討ち合戦した。義貞の次子で、当時二歳の駒王丸は、高見山重延と助けられ、香取別当大盛とより木宮の中津原と預けられた。これが、後の旭行軍木曾義仲である。

昭和五十五年三月

埼玉県

大蔵館跡

大蔵館は、源氏の棟梁六条判官源為義の次子、東宮帯刀先生源義賢の居館で、都幾川をのぞむ台地上にあった。現存する遺構から推定すると、館の規模は、東西一七〇メートル・南北二〇〇メートル余りであつたと思われ

る。館のあつた名残リか、館跡のある地名は、御所ヶ谷戸及び堀之内とよばれる。

現存遺構としては、土塁・空堀などがあり、ことに東面一〇〇メートル地点の竹林内（大澤知助氏宅）には、土塁の残存がはっきり認められる。また、かつては高見櫓の跡もあつた。なお、館跡地内には、伝城山稻荷と大蔵神社がある。

源義賢は、当地を拠点として武威を高めたが、久寿二年（一一五五年）八月十六日、源義朝の長子である甥の悪源太義平に討たれた。義賢の次子で、当時二歳の駒王丸は、畠山重能に助けられ、斎藤別当実盛により木曾の中原兼遠に預けられた。これが、後の旭将軍木曾義仲である。

埼玉県

昭和五十五年三月



大蔵神社社殿



左手は伝城山稲荷



伝城山稲荷



境内の様子/前方に高まりが見える



土塁の名残りか





前方に参道が横切る





振り返って土塁の先を見る





左手を見ると堀跡らしき窪みが並行している



土墨の更に先に行ってみる



左手に土塁の法面を見る



ここで振り返って土塁を見る



右手を見るとやはり堀跡が続いている



元の場所に戻る



この参道は虎口か切り通しであったのだろうか



鳥居の左手部分の土塁を見る



さて、B地点に立ち上記の土塁を道路側から見てみる



この前面の道路はかつて堀であったのかもしれない



土塁は直角に折れて右手の方へも続いているようにも見える





全体像を見る



この小道は伝城山稲荷の正面へ向かう参道/前方に鳥居が見える



左手も見る/車の後方がB地点



伝城山稲荷の鳥居



先ほどの土塁がここへ延びている





いずれにしても土塁のような高台がこの大蔵神社であり、館跡のエリアでも特別な部分であったと思われるという





鳥居の反対側をしてみる/土塁は更に伸びている



さて、これはA地点、B地点、C地点を道路沿いに見たところ



次に大蔵神社の裏手に回ってみる



付近にはこんな高まり(土塁の跡であろうか)が見られる



正面の木々の中が大蔵神社社殿の背面になる



振り返ってF地点方向を見たところ/資料の図によるとこの付近に高見倉の土塁があったようだ



さて、これはE地点からB地点方向を見る



E地点からD地点方向を見る



E地点からF地点方向を見る



F地点/ここが資料によると館跡の左上(北西)のコーナーに当たり所か



F地点からE地点方向を見る



F地点から南に進み、館跡の左側面(西面)を遠景に見る



アップで見る



更にアップで見る



近づいて西側から境内敷地(右手)を見る



E地点からB地点へ戻る際に大蔵神社境内方向(木々の辺り)を見る



B地点からC地点方向を見る



B地点からD地点方向を見る/この辺り一帯も館跡である



C地点へと進み、振り返ってB地点及び大蔵神社方向を見る



C地点/土塁が残っている









埼玉県指定
史跡

大蔵館跡

昭和九年二月二十一日指定

大蔵館跡は、平安時代の末期、帯刀先生源義賢によって築かれたと伝えられている。

館跡の四隅にそれぞれ土塁、空堀が残っており、これから推定される館の規模は、東西一七〇〜二〇〇メートル、南北二二〇メートルである。また館跡の内外には「御所ヶ谷戸」「堀之内」「高御蔵（高見橋）」など館のあったことを示す小字名もある。

館の東方一〇〇メートルには、鎌倉街道が南北に通っており、館の入口は街道に面して東方に設けられている。館の中核は、南西の一画に一段高く土盛りされている現在の大蔵神社付近と考えられるが、現存する大蔵館跡の規模は、必ずしも義賢当時のままだとはいえない。嵐山町周辺は、南北細く室町、戦国時代にかけて戦乱の絶えなかった地域であり、そうした時代にも軍事上の重要拠点として幾度となく造りかえられて利用されていたようである。

大蔵館跡実測図



昭和六十一年三月

埼玉県教育委員会
嵐山町教育委員会



埼玉県指定
史跡

大蔵館跡

昭和九年三月三十一日指定

大蔵館跡は、平安時代の末期、帯刀先生源義賢たてびさせんげんよしかたによって築かれたと伝えられている。

館跡の四隅にそれぞれ土塁、空堀が残っており、これから推定される館の規模は、東西一七〇〜二〇〇メートル、南北二二〇メートルである。また館跡の内外には「御所ヶ谷戸」ごしよがやと「堀之内」ほりのち「高御蔵たかみくら（高見櫓たかみぐら）」など館のあったことを示す小字名もある。

館の東方一〇〇メートルには、鎌倉街道が南北に通過しており、館の入口は街道に面して東方に設けられている。館の核は、南西の一画に一段高く土盛りされている現在の大蔵神社付近と考えられるが、現存する大蔵館跡の規模は、必ずしも義賢当時のままとはいえない。嵐山町周辺は、南北朝〜室町、戦国時代にかけて戦乱の絶えなかった地域であり、そうした時代にも軍事上の重要拠点として幾度となく造りかえられて利用されていたようである。

大蔵館跡実測図



昭和六十一年三月

埼玉県教育委員会
嵐山町教育委員会

振り返って見る





土塁の左手を覗いて見る



堀跡のようである







ここでは源氏も平氏もなく、ともに供養されている



さまざまな板碑もあった





土塁の上に立っている



遠景で見る/右手の方の私有地になっているようだ



ここからも覗いて見る





土塁に沿って堀跡が続いている



D地点/ここが資料によると館跡の右上(北東)のコーナーに当たり所か/E地点方向を見る



D地点からC地点方向を見る



C地点に戻る途中にこんな高まりがあった



上に祠でもあったのだろうか



古墳か塚の名残りであろうか



そこから大蔵神社方向(前方の木々の辺り)を見る/この辺り一帯が大蔵館跡とされる



参考ホームページ

<http://www.geocities.jp/woodone3831/kanntou/c-1-3-4-10-yakata-OOKURA.html>

<http://23.pro.tok2.com/~freehand2/rekishi/ookura.html>

<http://www.geocities.jp/tsukayan0112/subdir-siropage/ohkurayakata.html>

http://castle.slowstandard.com/08kanto/11saitama/post_623.html

<http://glassesmaiden.blog81.fc2.com/blog-entry-1329.html>

<http://www5f.biglobe.ne.jp/~shingen/joukansonota/ookura/ookura.html>

<http://homepage3.nifty.com/azusa/saitama/ranzanmati.htm>

<http://iyokakuzukan.la.coocan.jp/002saitama/241ohkura/ohkura.html>

